

平成 16 年度宮崎県教員採用試験 ( 教職教養 )

1 . 下線部の○、×を問う問題。( ×なら正しい答えを書く )

( 1 ) 必修教科・科目の最低合計単位数は以前の 3 8 単位 ( 全日制普通科 ) 3 6 単位 ( 定時制・通信制普通科 ) 3 5 単位 ( 専門学科 , 総合学科 ) から、各課程・学科とも 3 2 単位に縮減された。 答え : × ( 3 1 単位 )

( 2 ) 普通教科として新しく「芸術」を設けた。 答え : × ( 情報 )

この他にもあと 3 問くらい

2 . 一斉授業の長所と短所及び「総合的な学習の時間」の意義と課題。( 表を埋める形式 )

3 . 法規の穴埋めとその法規名を問う問題。

( 1 ) すべて国民は、法律の定めるところにより、その ( ) に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。 法規名 : 日本国憲法

( 2 ) 教育は、( ) の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

法規名 : 教育基本法

このほかにもあと 2 問

4 . ( 1 ) 生徒指導に関する穴埋め問題。

( 2 ) あなたが生徒指導で授業の発問の際に配慮することを 2 つ書きなさい。

5 . 同和対策審議会答申より穴埋め問題。

いわゆる同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程において形成された ( ) に基づく差別により、日本国民の一部の集団が経済的・社会的・( ) に低位の状態におかれ、現代社会においても、なおいちじるしく ( ) を侵害され、とくに、近代社会の原理として何人にも保障されている市民的権利と自由を完全に保障されていないという、もっとも深刻にして重大な社会問題である。

選択肢 : 身分階層構造 文化的 自由的 基本的人権 など

6 . 文章に合う人物を選ばせる問題。

ピアジェ、ソーンダイク、ブルーナー、ビネーが解答になる問題が出題されました。

7 . 教育課程審議会答申「児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価の在り方について」

て」より、「第2節 これからの評価の基本的な考え方」全文の穴埋め問題。

ア 学力については、知識の量のみでとらえるのではなく、学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付けることはもとより、それにとどまることなく、自ら学び自ら考えるなどの（ ）がはぐくまれているかどうかによってとらえる必要がある。

イ これからの評価においては、観点別学習状況の評価を基本とした原稿の評価方法を発展させ、目標に準拠した評価(いわゆる( ))を一層重視するとともに、児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを評価するため、個人内評価を工夫することが重要である。

ウ 学校の教育活動は、( ) 実践、評価という一連の活動が繰り返されながら展開されるものであり、( ) と評価の一体化を図るとともに、学習指導の過程における評価の工夫を進めることが重要である。また、評価が児童生徒の学習の改善に生かされるよう、日常的に児童生徒や保護者に学習の評価を十分に説明していくことが大切である。

エ 評価に当たっては、教育活動の特質や評価の目的等に応じ、評価の方法、場面、時期などを工夫し、児童生徒の成長の状況を総合的に評価することが重要である。

オ 評価活動を充実するためには、各学校において、評価の方針、方法、体制などについて、( ) のリーダーシップの下、教員間の共通理解を図り、一体となって取り組むことが不可欠である。また、各教員が、評価についての専門的力量を高めるため、自己研鑽に努めたり、校内研究・研修を実施することなどが重要である。

8 . 「宮崎ならではの教育」について論述問題。 ( A 4 用紙の半分程度 )